2018 年度　ＦＤ活動報告

生命環境科学域

１　ＦＤ活動の実施体制、取り組みの概要

- 生命機能化学課程では、複数の講義で独自に授業内容に関する学生へのアンケート調査を実施した。
- 生命機能化学課程では、教育目的等に沿ったカリキュラムに改善するため、講義科目の見直しを行い、専門科目の新設・廃止、必修・選択の変更、開講期の変更案を作成し、2019 年度入学生から変更する手続きを行った。
- 植物バイオサイエンス課程ではカリキュラム改善に関する打ち合わせと会議での議論を継続的に実施し、カリキュラム改善案を作成した。
- 緑地環境科学類では、複数の講義で独自に授業内容に関する学生へのアンケート調査を実施した。
- 緑地環境科学類では、実習・演習科目に関わる WG を設置し、実習書の作成・改訂や採点評価方法の検討、実習指導に関する留意点などの検討会を開催した。
- 獣医学類では平成 29 年度から始まった獣医学共用試験に向けた vetOSCE 実習において、より充実した実習にすべく振り返りミーティングを担当教員全員で行った。また実習に協力してもらう「飼い主役」の方々（クライアント）を含めた、クライアント研修も実施した。
- 「授業振り返り（授業アンケート）」への教員コメントの入力を推進した。
- 学域在学生（１～３回生）の学期ごとの単位修得状況を保証人へ連絡するとともに、成績を把握することで学生に対する個別指導に役立てた。

２　ＦＤに関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数
2018. 4. 4	新任教員 FD 研修	研修	5 名
2018. 5. 2	英語で授業を行うためのワークショップ	ワークショップ	1 名
2018. 7. 10～17	「生物物理化学Ⅰ・特別講義(熱力学の基礎)」(加納健司・京大農)	セミナー	1 名
2018. 8. 2	獣医師免許のヨーロッパ認証制度について	セミナー	20 名
2018. 9. 19	「高等学校での教育・学習の今を知る　～府大生はどのように学んできたのか」	セミナー	8 名
2018. 10. 26	「Endowing Organometallic Catalysis with A Genetic Memory: Artificial Metalloenzymes」（Prof. Thomas R. Ward, University of Basel, Switzerland）	セミナー	3 名
2018. 10. 30	授業デザイン研修 II	研修	1 名
2018. 12. 13	「糖尿病の危険について」(Dr. Bruno Kilunga	セミナー	3 名

	Kubata,, NEPAD/NARHI, Guest Professor）		
2018.12.18	大学改革と内部質保証　－芝浦工業大学の取り組み－	セミナー	2名
2019.1.25	ハラスメント防止セミナー　～信念対立から考える～	セミナー	15名
2019.2.6	障がいのある学生への授業支援	セミナー	12名
2019.2.15	獣医学コア・カリキュラム改定についての説明会	セミナー	28名
2019.2.20	文部科学省セミナー「グランドデザイン答申と今後の高等教育政策」	セミナー	3名
2019.3.14	染色体解析・CHO 細胞発現系に関するセミナー	セミナー	2名

３　ＦＤに関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
生命環境科学域教育運営委員会	科目ナンバリングに関する協議	2回	11名
生命機能化学課程教員会議	毎月１回の割合で課程内での学生指導における情報を共有	12回	22名
生命機能化学課程教授会議	講義科目の見直し案（新設・廃止、必修・選択、開講期）の作成	3回	8名
生命機能化学課程教員会議	講義科目の見直し案（新設・廃止、必修・選択、開講期）の議論および決定	2回	22名
植物バイオサイエンス課程 カリキュラムポリシーの検討会	カリキュラムポリシーの検討	2回	10名
応用生命科学類 ベネッセ藤井氏によるアセスメントテストの説明会	ベネッセアセスメントテストの説明	1回	8名
植物バイオサイエンス課程 カリキュラム改善ワーキンググループ	カリキュラム改善に関する教員打ち合わせ	6回	4名
緑地環境科学類実習演習検討WG	・　実習書の改正と実習プログラムの見直し ・　社会要請に鑑みた内容の見直し ・　実習演習テーマと評価基準の検	4回	13名

	討および評価における意思統一など		
緑地環境科学類新演習検討 WG	新たな演習科目設置（緑地環境科学入門演習）のための検討	4 回	10 名
第 1 回獣医学類教育検討委員会	外国人特別選抜で入学した学生からの日本語の専門用語についての要望に対する対応について	1 回	9 名
第 2 回獣医学類教育検討委員会	専門科目の単位数変更について	1 回	9 名
医療面接・振り返りミーティング	医療面接の内容を充実するため実施内容を振り返る	4 回	16 名

４　ＦＤ活動への各教員の参加状況

※　前項のセミナー・委員会等への参加の他、教授会後に実施している勉強会等への出席や、分野内で成績分布について確認・検討する機会を設けている場合なども含みます。

教員数（実数）	13　人　／　21　人中　（植物バイオサイエンス課程） 31　人　／　45　人中　（獣医学類）

５　ピア授業参観実施状況

期間	公開授業数	参観者数	特記事項
前期	0	1[1)]	1）機構が開講している「初年次ゼミナール（医学史への招待：脳科学を中心に）」にピア授業参観として参加した（生命機能化学課程）。
後期			
年度合計	0	1	

６　その他取り組みの具体的実施状況

- 独自の授業アンケートを少なくとも以下の授業で実施
- 応用生命科学類：基礎生化学(回答数 109/110 件、回収率 99%)
- 生命機能化学課程：構造生物学(回答数 56/56 件、回収率 100%)、酵素化学(回答数 58/60 件、回収率 97%)
- 緑地環境科学類：水理学（回答数 50/50 件、回収率 100%)、水環境管理学（回答数 18/18 件、回収率 100%）